

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和4年6月2日(2022.6.2)

【公開番号】特開2020-192236(P2020-192236A)

【公開日】令和2年12月3日(2020.12.3)

【年通号数】公開・登録公報2020-049

【出願番号】特願2019-101082(P2019-101082)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和4年5月25日(2022.5.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技球が入球可能な入球可能状態と遊技球が入球不能な入球不能状態とに変化可能な第1可変入球口と、
遊技球が入球可能な入球可能状態と遊技球が入球不能な入球不能状態とに変化可能な第2可変入球口と、
前記第1可変入球口が入球可能状態となる第1特別遊技を実行可能な第1特別遊技実行手段と、
前記第2可変入球口が入球可能状態となる第2特別遊技を実行可能な第2特別遊技実行手段と、
所定の取得条件の成立により取得された取得情報に基づいて前記第1特別遊技を実行するか否かを判定する第1特別遊技判定手段と、
前記取得情報に基づいて前記第2特別遊技を実行するか否かを判定する第2特別遊技判定手段と、
前記第1特別遊技が実行される場合の該第1特別遊技後の遊技状態を複数の遊技状態のうち何れにするかを判定する状態判定手段と、
前記第1特別遊技における全てのラウンド遊技の終了後、所定の終了期間が経過することにより該第1特別遊技を終了して、該第1特別遊技後の遊技状態を開始させる状態制御手段と、
前記終了期間を設定する終了期間設定手段と、を備え、
前記複数の遊技状態には、少なくとも第1遊技状態と、該第1遊技状態に比べ前記第2特別遊技判定手段による判定が高頻度で実行されて前記第2特別遊技の実行頻度が高くなる第2遊技状態とがあり、
前記終了期間設定手段は、前記第1遊技状態にて前記第1特別遊技を実行すると判定され且つ該第1特別遊技後の遊技状態を前記第1遊技状態にすると判定された場合、前記第2遊技状態にて前記第1特別遊技を実行すると判定され且つ該第1特別遊技後の遊技状態を前記第1遊技状態にすると判定された場合よりも長い前記終了期間を設定可能であることを特徴とする遊技機。

30

40

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

50

【補正対象項目名】 0 0 0 7

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 7 】

すなわち、手段 1 の遊技機は、
 遊技球が入球可能な入球可能状態と遊技球が入球不能な入球不能状態とに変化可能な第 1
 可変入球口と、
 遊技球が入球可能な入球可能状態と遊技球が入球不能な入球不能状態とに変化可能な第 2
 可変入球口と、
 前記第 1 可変入球口が入球可能状態となる第 1 特別遊技を実行可能な第 1 特別遊技実行手
 段と、
 前記第 2 可変入球口が入球可能状態となる第 2 特別遊技を実行可能な第 2 特別遊技実行手
 段と、
 所定の取得条件の成立により取得された取得情報に基づいて前記第 1 特別遊技を実行する
 か否かを判定する第 1 特別遊技判定手段と、
 前記取得情報に基づいて前記第 2 特別遊技を実行するか否かを判定する第 2 特別遊技判定
 手段と、
 前記第 1 特別遊技が実行される場合の該第 1 特別遊技後の遊技状態を複数の遊技状態のう
 ち何れにするかを判定する状態判定手段と、
 前記第 1 特別遊技における全てのラウンド遊技の終了後、所定の終了期間が経過すること
 により該第 1 特別遊技を終了して、該第 1 特別遊技後の遊技状態を開始させる状態制御手
 段と、
 前記終了期間を設定する終了期間設定手段と、を備え、
 前記複数の遊技状態には、少なくとも第 1 遊技状態と、該第 1 遊技状態に比べ前記第 2 特
 別遊技判定手段による判定が高頻度で実行されて前記第 2 特別遊技の実行頻度が高くなる
 第 2 遊技状態とがあり、
 前記終了期間設定手段は、前記第 1 遊技状態にて前記第 1 特別遊技を実行すると判定され
且つ該第 1 特別遊技後の遊技状態を前記第 1 遊技状態にすると判定された場合、前記第 2
遊技状態にて前記第 1 特別遊技を実行すると判定され且つ該第 1 特別遊技後の遊技状態を
前記第 1 遊技状態にすると判定された場合よりも長い前記終了期間を設定可能である
 ことを要旨とする。